

マイルチャンピオンシップ

雨の影響はほとんどなく、
昨年、一昨年に似た能力が問われると想定。
(想定以上に雨が降り続けて、末脚を削られる馬場の場合は、あまり参考にしないでください)

過去 2 年阪神で行われたマイル CS は、
1 人気で連覇した歴史的名馬グランアレグリアを除く
馬券対象馬 4 頭は、いずれもノーザンテーストかダンチヒを持つ馬。
かつ父か母父が欧州型。

戦歴は格が重要。過去 2 年の 1-3 着馬は、
当レースを迎えるまでにすでに G1 を勝利していた馬。

さらに 1800m 以上の重賞で高いパフォーマンス
(高レベルレースで 3 着以内)を発揮していた馬。

ダンチヒ、ノーザンテーストは加速力を強化する反面、
中長距離で要求される「伸び」を失いやすい血統。

中距離の伸び勝負に不利な血を持ちながら、
中距離重賞で高いパフォーマンスを発揮できるのは、
自身は「伸び」が要求される競馬への適応力が高いことに加え、
絶対能力が高いから。

加速力血統ながら、伸びが要求される
中距離重賞でも実績を残せる馬は少ないので、同じ馬が走りやすいのです。

本命はシュネルマイスター。

父ダンチヒ系。
昨年は芝 1800m からのローテーション。

高速上がりを出した反動と短縮ローテも合いませんでした。
今年は延長で疲労もないローテーション。

サリオスも母母父がダンチヒ系。

戦歴の傾向も満たす馬。

過去 2 年はそれでも馬券対象外になっていますが、去年は休み明け。
次走の香港マイルでは本命にしたように、ここが叩き台。

一去年も軽視したのは外枠不利で鞍上もあって出遅れそうだったから。
今年は内枠。秋に一叩きのローテーション。

ダノンザキッドも母父ダンチヒ系で中距離 G1 勝ち馬。
去年の 3 着馬。

ダノンスコーピオンはノーザンダンサー色が強く、
父もスプリント指向が強い加速力血統。
それでいて、芝 1800m の萩 S で後の G1 馬キラアビリティを負かして優勝。
前走は今回よりも加速力を生かせない舞台で 3 着。
使って上昇する血統。
使った上積みに加え、適性による上積みも見込めます。

ソダシは 5 番手評価。

軽い馬場になるほど不利で、雨が降るほど有利。